

奈良市西部会館市民ホール及び奈良市北部会館市民文化ホールに係る奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設の名称	奈良市西部会館市民ホール
申請団体の名称	公益財団法人 奈良市生涯学習財団

審査日 令和5年1月19日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査									意見
		A	B	C	D	E	可の数	否の数	判定		
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	・公民館の管理運営の実績が豊富なことから、西部会館市民ホールの指定管理者としての適性は適格であるが、文化施設の管理運営は初めてのことでため、法令等の確認をしっかりと行ってほしい。 ・使用料の納付の頻度が週1度が基本であるとの記載があるが、その間の具体的な管理方法について検討するとともに、本市の公金マニュアル等を参考に適正な公金の取り扱いをお願いしたい。	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適		
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点		意見		
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
2 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	3	3	2	3	2	2.6	13	60	15	75	39%	・利用目標を明確に打ち出している。 ・これまでの実績を活かした地域・市民とのつながりの深化に期待できる。	・自主事業について将来的な目標としているが、市民ニーズを早急に把握し活性化に努めて欲しい。 ・自主事業・利用促進について市民ニーズの把握、広報手段等について具体的な提案に乏しい。
	② 事業実施計画及び達成目標	3	2	2	3	2	2.4	12						
	③ 自主事業実施計画及び達成目標	2	2	1	2	2	1.8	9						
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	3	2	1	3	3	2.4	12						
	⑤ 施設の目標設定	3	3	3	2	3	2.8	14						
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 指定管理料の提案額	5	5	5	5	5	5	25	25	25	25	13%	指定管理料の提案額が今年度予算額の90%未満の額の為	
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 職員の配置、勤務体制及び研修計画	3	3	2	3	3	2.8	14	41	15	45	24%	・公民館等の運営実績が豊富 ・安定した財務状況にあると判断できる。 ・財団本部・公民館配置職員と事務協力体制がしっかりとられている。	
	② 類似事業の実績、ノウハウ	2	3	3	3	3	2.8	14						
	③ 財務状況の健全性	3	3	3	2	2	2.6	13						
5 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 行政との連携	3	3	2	3	3	2.8	14	40	15	45	24%	・文化学習事業を行う事業者としてより一層相乗的に地域・市民へのサービス提供が期待できる。 ・指定管理料の経費削減が期待できる。	・数値目標を示してほしい。
	② 地域における連携・貢献について	3	3	3	3	3	3	15						
	③ 指定期間中の具体的な達成目標	3	2	2	2	2	2.2	11						
合計点		36	34	29	34	33	33.2	166	166	190	190	100%		

審査項目の総数	12
委員の半数以上が「劣っている」以下で評価した審査項目	0
適否判定	適

〔総評〕
・公演に市民の方が来てもらいやすい内容や広告方法の改善、またIT化やDX化により経営の効率化を図るための人材確保が必要と思われる。 ・ノウハウ・ネットワークを活かし、一体管理のモデルケースを作って欲しい。 ・マーケティング手法を活用し、ニーズの掘り起こし、付加価値のある事業計画を立てて利用拡大に努めて欲しい。 ・より具体性のある踏み込んだ提案についても今後期待したい。 ・公民館との一体管理のメリットを活かし、経費の削減が期待できる。 ・分野は異なるものの、本市の施設管理の実績が豊富なため当該施設の指定管理者としての適性はある。

奈良市西部会館市民ホール及び奈良市北部会館市民文化ホールに係る奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設 の 名 称	北部会館市民文化ホール
申 請 団 体 の 名 称	社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会

審査日 令和5年1月19日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査							意見	
		A	B	C	D	E	可の数	否の数		判定
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	・本市の福祉施設を管理している実績が豊富である一方で、文化施設は新たな範疇となり、利用される団体も多様であることから、法令等の確認をしっかりと行い業務を進めて欲しい。 ・利用料の収納について、納入後10日以内の納付とあるが、その間の具体的な管理方法について検討するとともに、本市の公金マニュアル等を参考に適正な公金の取り扱いをお願いしたい。 ・事故非常時の事前の訓練や、緊急時の連絡等の整備、参集体制などが具体的に示されており、安全に対する対策の用意がしっかり準備されていることがわかる。
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点		意見		
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
2 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	3	3	2	3	3	2.8	14	62	15	75	39%	・多くの市民に利用される施設になるために経験のある市社協が一体管理することになるのでより具体的な目標設定が期待できる。 ・直近の実績を踏まえて今後の目標についてそれぞれの項目が数値化されている。 ・福祉法人としてのこれまでの実績と強みを活かした事業計画となっている。	・提案事業・自主事業共に現在の事業の引継ぎとサービスの低下を防ぐという記述にとどまっている。 ・事業計画に具体性がほしい ・利用促進策について、現状のHP、しみんだよりだけでなくより意欲的な提案が必要。 ・自主事業の内容が高齢者向けであるため子育て世代の方向けの物を検討してもらいたい。
	② 事業実施計画及び達成目標	3	2	2	3	3	2.6	13		15				
	③ 自主事業実施計画及び達成目標	3	2	2	3	2	2.4	12		15				
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	2	2	1	3	3	2.2	11		15				
	⑤ 施設の目標設定	2	3	2	2	3	2.4	12		15				
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 指定管理料の提案額	5	5	5	5	5	5	25	25	25	25	13%	・指定管理料の提案額が今年度予算額の90%未満の額のため。	
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 職員の配置、勤務体制及び研修計画	3	2	2	2	3	2.4	12	39	15	45	24%	・福祉分野・活動との連携推進に期待できる。 ・市の福祉施設の管理運営の豊富な実績がある。	・配置人数に若干の不安感がある。
	② 類似事業の実績、ノウハウ	3	3	3	2	3	2.8	14		15				
	③ 財務状況の健全性	3	3	2	2	3	2.6	13		15				
5 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 行政との連携	3	3	2	2	3	2.6	13	41	15	45	24%	・これまでのホール利用者層ではない市民への働きかけに期待したい。 ・地域に根差した取組の実績がある。 ・新規事業を行いこれまで以上のサービスを行う意気込みが感じられた。	
	② 地域における連携・貢献について	3	3	3	3	3	3	15		15				
	③ 指定期間中の具体的な達成目標	3	3	2	2	3	2.6	13		15				
合計点		36	34	28	32	37	33.4	167	167	190	190	100%		

審査項目の総数	12
委員の半数以上が「劣っている」以下で評価した審査項目	0
適否判定	適

【総評】
・利用しやすい施設になるため多世代の方々と利用率や目標達成のための意見交換会の開催も今後必要である。 ・ノウハウ、ネットワークを活かし多様な人々が交流できる場づくりをしてもらうことを期待する。 ・設備や建物の安全性をキープし、安心して人々が参加交流できる新しい事業展開をしてほしい。 ・福祉分野との連携の推進が期待できると思われる。 ・これまで市民文化ホールを活用したことがない市民へのアピール、より踏み込んだ自主事業の展開などに期待したい。 ・ホールの幅広い多様な利用を通して、地域・市民とつながる機会の提供、まちづくりへと展開して欲しい。